

【創世記第29章】

「ヤコブはラケルのために七年間仕えた。ヤコブは彼女を愛していたので、それもほんの数日のように思われた。」主はレアがきらわれているのをご覧になって、彼女の胎を開かれた。」(29:20、31)

この章では色々な語りかけがありますが、「愛」がポイントです。ヤコブは「イスラエル」と呼ばれるようになり、それが国家の名前になりました。

自分がだましたエサウに殺されない為、家を離れて野宿し、石の枕に伏している時に夢を見て、神様のご臨在触れたヤコブですが、母の生まれ故郷でラバンや家族親族に迎え入れられています。そして20節では、ラケルと結婚したかった為、「ヤコブはラケルのために七年間仕えた。ヤコブは彼女を愛していたので、それもほんの数日のように思われた。」7年は2555日ヤコブに与えられた仕事は肉体労働で大変だったと思いますが、それをほんの数日のように思われたというのは、ヤコブがラケルをよほど愛していたからでしょう。愛の力って本当にすごいんですね。主イエス様に対して私たちの愛もそのようであればいいですね。また31節には「主はレアがきらわれているのをご覧になって、彼女の胎を開かれた。～」そのレアから祝福のしるしとして生まれたのはルベン、シメオン、レビ、ユダ、、、です。レビの家系から何と、モーセ、アロンが出てきました。そしてユダからはダビデ王が出て、イエス様が誕生する事に繋がっています。神様は人が見捨てた者を顧みて偉大な救いのわざを成されたというのは驚くべき神様の愛ではありませんか！ハレルヤ

男女の愛をエロス。美しいから、気に入ったから愛すという具合に自分中心的な愛です。次に親子や師弟愛などの愛、フィレオーと言います。感情的に好きだから、大切だからというもの。次に隣人愛アガペーの愛。くたとえ敵であっても愛する愛。条件付きの愛ではなく、どんな状態でも存在そのものを愛して下さる無償の愛が神の愛です。ヤコブもこの神様の愛と祝福を受けています。しかし、叔父ラバンから騙され、ラケルを嫁にくれると言いながら、レアと結婚させられた時にはどんなに悔しかったでしょう。しかし自分がかつて兄エサウを出し抜き、父を欺いた事を思い出さざるを得なかったことでしょう。悔い改め、赦し、待たされ、真実な神の愛の前に整えられてゆかなければなりません。

この時代マタイ24:12「不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。」だから愛の源である神様から愛を受けましょう。Iヨハネ4:8「神は愛だからです。」Iコリント14:1「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。」愛を求めましょう。真の愛は聖霊に満たされたらいただけます。ガラテヤ5:22、23「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。」例え異言を語っても、預言をしても、奥義と知識に通じて信仰を持っていても、愛がなければ、やかましいどらや、うるさいシンバルで何の値打ちもないと言っています。ぶどうの木である教会に繋がり、互いに祈り合い支え合って愛の実を多く結んでゆきましょう。今年は神様の奇しい主のわざを見、恐るべきリバイバルのわざを見ると語られています。クリスマスチャリティーコンサートも愛を持って仕えてゆきましょう！



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会
Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven
主任牧師：イエス・キリスト
牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.12.14 No.819

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、
主のみわざを見るであろう。
わたしがあなたとともに行うことは
恐るべきものである。

出エジプト記 34：10



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)
The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>

